

CHEER

2012
No.25

[KGU 同窓会コミュニケーション誌]

京都学園大学同窓会

チア【cheer】応援すること・喝采すること・激励すること・
元気がよいこと・気分がよいこと・おいしいこと



- Contents**
- それぞれの卒業後を追う1
俳優 **国広 富之**
 - それぞれの卒業後を追う2
株式会社イシダスタジオ代表取締役社長 **石田 直之**
 - 地元で頑張っています!
丹山酒造有限会社勤務 **大坪 美由子**
 - 卒業生リレーエッセイ
富田 勝也 / 浅田 悠里 / 柳井 奈都子
 - 同窓会支部レポート
四国支部 / 中国支部 / 関東支部 / 九州支部 / 北陸支部
東海支部 / 滋賀県支部 / バイオ環境学部支部
 - 大学TOPICS
京都みつばちガーデン推進プロジェクト
経営学部創設20周年記念講演会・シンポジウム
「これが手厚い大学」トップ20にランクイン / 組織改編
「GREEN PLAZA 芝生広場」誕生 / クラブ戦績 / 退職者のお知らせ
 - クラブ活動リポート
校友会 / ボランティア研究会 / 吹奏楽部
アメリカンフットボール部 / 写真部
 - 2013年度入試概要 / オープンキャンパス
 - 同窓会の広場
中村新会長挨拶 / 同窓会設立40周年記念式典開催
決算・事業報告 / 同窓会からのお知らせ
 - 龍尾祭 & ホームカミングデーのお知らせ



国広 富之

KUNIHICO
TOMIYUKI

それぞれの卒業後を追う 1

学生時代のアルバイトが きっかけで俳優を目指し テレビ・映画・舞台など 多才な表現人として活躍

トミーの愛称で知られる国広富之さんは京都学園大学経済学部4期生である。テレビ、映画、舞台で活躍する俳優であることは周知の通りだが、歌手や画家の顔も持ち、最近では陶芸も手がけている多才な表現人だ。役者生活35年を経て今なお絶大な人気を誇る国広さんの素顔に迫るべく、6月半ばに京都烏丸で開催された「国広富之展〜海〜」の個展会場を訪ねた。



が少なく、盛んに野外でロケが行われていました。山陰線嵯峨駅の裏あたりは自然が豊かで、絶えず時代劇が撮影されていましたね。

そんな状態だからしつちゆうエキストラが募集されていて、いいアルバイトになりました」

「毎日のように撮影現場に出っていたので、半年もすると大部屋の人たちと仲良くなり、出演前の用意も自分でできるようにになりました。また、打合せの場に居合わせることもあり、『この撮影場面がこのように仕上がるんだ』といった、芝居が作り上げられていくクリエイティブな部分にも魅力を感じ、俳優になる夢がしだいに現実味を帯びていったのです」

ライバルの多さに驚きながらも 演劇研究所で過ごした充実の日々

「役者を目指すなら東京に行くべきだ」というアドバイスを受け、映画のプロデューサーをしていた父親のつてを頼って、卒業と同時に松浦竹夫演劇研究所に2年間の予定で入所した。昼間はここでダンス、日本舞踊、発声練習など俳優に欠かせない訓練に励み、夜はアルバイトで生活を支えるという毎日が続いた。

「いろんなことにチャレンジできるので、

エキストラのアルバイトで芝居の面白さに目覚め デビュー作でゴールデンアロー新人賞を受賞 以来35年にわたって順風満帆な俳優人生を歩む

レッスンは楽しかったですね。ただ、京都ではあまり見かけなかった俳優志望者、つまりはライバルが周りに何千人もいることにカルチャーショックを受けました。でも、不安は感じなかったですね。当時はまだ高度経済成長が続いていた時代で、その気になれば就職口がいくらでもありましたから。数年やって芽が出なければサラリーマンになればいいと思っていました」

太秦から嵯峨にかけてはロケの最適地 毎日のようにエキストラとして現場へ

「僕たちはテレビの子の走りなんです」と語るように、国広さんが生まれた昭和28年に白黒テレビの本放送が、小学校入学の1年後にカラーテレビの本放送が始まり、大学卒業の昭和51年前後には家庭用ビデオが発売されるなど、まさにテレビの普及とともに育ってきた世代だ。必然的に画面の中で展開されるさまざまな番組や演技への興味が高まっていった。もっとも、具体的に俳優への道を目指すようになったのは、大学に入ってエキストラのアルバイトを始めてからのことである。

「当時、映画村がある太秦周辺は人家

TBSのオーディションに合格し ドラマ『岸辺のアルバム』でデビュー

チャンスは意外に早くやってきた。研究所に入った翌年、TBSのオーディションを受ける機会に恵まれたのである。

「新しく始めるテレビドラマで、18歳ぐらいの役柄を演じられる役者を探していたのです。私はすでに24歳になろうとしていましたが、運とタイミングに恵まれたのでしようね、幸いにして採用していただくことができました」

当時、「ドラマのTBS」と呼ばれていたほど、ドラマに力を入れていたTBSでは、役柄に合ったナチュラルな演技ができるよう、新人を起用する際は収録前の1〜2カ月間、研究所より数段階レベルが高いトレーニングを実施していたという。こうしてTBSドラマ『岸辺のアルバム』でデビューした国広さんは、確かな演技力と甘いルックスで一躍脚光を浴び、その年のゴールデンアロー新人賞を受賞した。

以後はまさにとんとん拍子で、NHK大河ドラマ『草燃える』、TBS『噂の刑事トミーとマツ』、TBS『ぶどうの林檎たち』など、テレビに映画に舞台にと出演が相次いだ。また、売れっ子になるとレコードを出すのが定番である。国広さんも昭和54年から57年にかけて3枚のシングルを出し、歌手デビューを果たしている。

「何万人もの役者がいる中で、一般に知られているのは300〜400人、その中でも売れていると言えるのは100人そこそこでしょう。実力の世界であることはも

ちろんですが、私はデビュー時から運とタイミングにも恵まれたと思いますね」

いつも楽しく過ごした大学生活 当時の遊び仲間とは今も交流

「1番は芝居、2番は絵画」と国広さんがいうように、画集を出版し、各地で個展を開くなど、絵画はもはや趣味の域を超えて、ビジネスの一角を占めている感がある。絵を描き始めた動機が面白い。

「絵が欲しいと思うても、いいものが高くてなかなか手が出ないじゃないですか。それなら自分で描けばいい。欲しいと思う絵を描けば、最もお気に入りの絵が手に入りますからね。だから特に画題を絞らないで、描きたい時に描きたいものを自由に描くんです。こういう考え方をするのも、京都人のしたたかさですかね」

そんな国広さんも、「学生時代は軟弱で遊び好きでした」と振り返る。「ドライブ、パチンコ、マージャン、夏は海、冬はスキーと、当時の学生がやっていたことはひととおりやりました。大学時代は本当によく遊びましたね。そのころの仲間とは今も旧交を温めています。仕事柄地方へもよく行きますので、それぞれの土地で会うつもりです」

「仕事も趣味もそうですが、これまで自分の好きなこと、やりたいことをやって過ごしてきました。こういう生き方ができるのは何万人に一人の幸運でしょうが、これからも流れに身をまかせて、好きなように生きていきたいと思っています」



国広 富之

俳優

Profile 昭和28年に京都市左京区で出生。大学時代に映画やテレビドラマのエキストラのアルバイトをし、演技に目覚める。昭和51年京都学園大学経済学部卒業と同時に松浦竹夫演劇研究所に入所。その翌年 TBSドラマ『岸辺のアルバム』でデビューし、ゴールデンアロー新人賞を受賞。以後テレビ、映画、舞台などで活躍。愛称はトミー。趣味は絵画とスキューバダイビング。各地で絵画の個展を開催し、平成5年には画集も出版している。

記念写真からカジュアルフォトへ。 従来のイメージを覆すアイデアで 写真業界に新風を吹き込む革命児。

かつて、一般の人たちがプロのカメラマンに写真を撮ってもらう機会といえば、七五三や成人式、結婚式といったハレの日の記念写真と相場が決まっていた。そんな常識を打ち破り、「カジュアルフォト」というコンセプトを打ち出して、キッズやファミリーを対象に普段着のままの自然な姿を撮るのが石田スタイルだ。マスクが注目し、全国から講演依頼が相次ぐ石田直之さんを姫路市に訪ねた。

**スポーツ推薦入試の難関を突破し
バレーボール部のレギュラーで活躍**



「京都学園大学にはスポーツ推薦で入りました」という石田さんは、中学時代からバレーボール一筋に打ち込んできたスポーツマンだ。もちろん、入学後もバレーボール部でレギュラーとして活躍した。「当時はスポーツ推薦入試を志望する学生が多かったですね。バレー部は40名ほどが受験し、合格したのは5名だけだから倍率は約8倍、なかなかの難関でした」「野球、サッカー、テニ

石田直之

ISHIDA NAOYUKI

スなども含め、スポーツ推薦で入った仲間とはいつも一緒でした。夜ともなると飲み会で盛り上がりたり、マジシャンやボウリングに興じたり。アルバイトも同様で、お中元やお歳暮の時期が近づくともスポーツ組に招集がかかり、京漬物の工場で働きました。とにかく何かにつけて結束が固く、今でも忘れられない思い出になっています」

**思わぬアクシデントで夢を断たれ
全く興味のなかった写真の世界へ**

国宝であり、世界文化遺産でもある姫路城と、JR姫路駅を一直線に結ぶ大手前通りの東側に平行して、姫路市随一のみゆき通り商店街がある。その北限、国道2号線に出る直前の右手に、昭和12年創業の古い写真館「イシダスタジオ」があった。「祖父が創業し、父が継いでいたのですが、



石田直之
株式会社イシダスタジオ代表取締役社長
Profile 平成6年京都学園大学経営学部卒業後、家業の写真館イシダスタジオに就職。平成9年ウェディングスタジオに力を注ぎ、10年間で約1000組のカップルを撮影。平成18年カジュアルフォトスタジオ「ism」をオープン。NHKで紹介されて大きな反響を呼び、その後マスクミ取材や講師依頼が相次ぐ。平成21年「ism」の隣に雑貨店「R」を、平成23年には創業時からの店舗を「ism basic」としてリニューアルオープン。

父母が細々とやっていた写真館に魅力を感じず、写真そのものにも全く興味を持っていませんでした。私自身は大学で経営学を学び、また英会話をかじっていたこともあって、漠然と将来は輸入雑貨の販売でもやるのかなと考えていました」

**幸せいっぱいのカップルの表情を追い
「ウェディングのイシダ」の評価を確立**

石田さんに転機が訪れたのは平成9年、新郎新婦が直立不動で収まる従来の婚禮写真ではなく、ウェディングにストーリー性を持たせた「ウェディング・デザイン・フォト」との出会いである。その草分け的存在であった神戸のカメラマンに面会し、将来に大きな夢を持って、イキイキと仕事に取り組み姿に大きな刺激を受けた。

「そのカメラマンの生き方に共感を覚えたのです。そこでデートやプロポーズなどさまざまな場面を取り入れながら、躍動的なカップルの姿



「ism」に隣接する雑貨店「R」

を追いかけて写真集にするという、笑顔や幸福感に満ちた作品づくりに取り組むことにしました」

全く新しい発想の写真だけに当初は拒否反応もあったが、ファイナダーを通してカップルに注ぐ温かい視線や、手づくり感覚のぬくもりのある写真集が評価されるようになり、いくつかの結婚式場と専属契約を結ぶことができた。以後、10年間で1000組を超えるカップルを手がけ、いつしか「ウェディングフォトのイシダ」という評価を得るまでに発展していった。

**日常の自然な姿や笑顔をとらえ
着々と夢の実現にもチャレンジ**

やがて多くの写真館が真似るようになると、品質ではなく価格競争になっていった。当初の楽しさや魅力が薄れていくなか、石田さんの新たな挑戦が始まった。

「ちょうど結婚し、子供が生まれた頃で、家族と過ごす時間の大切さに目覚め、特に子供への関心が高まっていた時期でした。そこで考えついたのが、キッズやファミリーを自然な姿で撮る『カジュアルフォト』というコンセプトです」

平成18年、近くの本町商店街の空き店舗を借り、まるでカフェのようなフォトスタジオ「ism(イズム)」をオープンした。事前にシチュエーションやポーズを設定するのではなく、文字どおり普段着で自由に遊んでもらったり、家族でくつろいでもらったりしながら、自然な姿を撮影していく新しいスタイルだ。二階には和風にも洋風にも対応できるスタジオを設けたが、それにこだわ

ることなく、街中にも公園にもどんどん出かけて撮っていく。

「この仕事に集中するため、元の写真館は閉鎖しました。収入がゼロになり、ismの開店で多額の借金があった。まさに背水の陣でした。3カ月たってもダメなら、夜間のトラック運転手でもやろうと心に決めてスタートしたのですが、幸い半年目くらいから、イメージしていたお客様が来店されるようになりました」

平成21年には隣に雑貨店「R」を開設した。学生時代に考えていた輸入雑貨の販売を目指したもので、いずれは商品の仕入れを兼ねて世界各国を巡ることを夢見ている。さらに、昨年10月には閉鎖していた元の写真館を改装して、पोर्टレート専門スタジオ「ism basic」をオープンした。

こうして写真業界に新風を吹き込み続ける石田さんを追って、マスクミの取材が相次いでいる。また、写真業界最大のイベント「PHOTONEXT」や、全米最大のフォトコンベンションである「WPP IASIA 2009」をはじめ、全国各地から講師依頼が舞い込んでくる。今や時の人となった石田さんは、これに満足することなくさらに新たな夢を追っている。





大坪 芙由子

Profile 平成23年バイオ環境学部バイオサイエンス学科卒業。
4回生の時、微生物機能開発学研究室に所属して大槻並プロジェクトに参加、その縁で丹山酒造株式会社に入社し営業に従事。



丹山酒造株式会社
〒621-0812 京都府亀岡市横町7番地
TEL 0771-22-0066 / FAX 0771-22-2087
営業時間: AM9:00~PM6:00【年中無休・酒造見学可(要予約)】

大槻並プロジェクトへの参加が縁で、 純米酒の営業および販売促進に奔走

創業130年を誇る、亀岡では数少ない酒蔵の一つに丹山酒造がある。地元産の山田錦100%の純米酒にこだわって自ら酒米づくりに取り組み、創業当時の「寶満吉祥の井戸」水を使って吟醸酒を造り続けている。そのさらなる普及を目指して営業活動を展開しているのが大坪芙由子さんだ。

新しい施設や機器を存分に使って 微生物の研究に没頭した学生時代

「中学時代から微生物に興味を持ち、その研究がたくて京都学園大学に入りました。バイオ環境学部は前年にできたばかり、施設はきれいだし新しい機器類も使い放題で、好きな実験に没頭しました」
4回生になって微生物機能開発学研究室に入り、卒業研究に取り組み始めた矢先、大槻並プロジェクトがスタートした。

これに参加し、丹山酒造で洗米から実際の酒づくり、販売まで体験するなかで日本酒への興味はますます高まっていた。また、大槻並のラベルのデザインも考案し、見事に選ばれて採用されている。

「できたばかりの大槻並をいただいて帰ると、家族みんなが、特に祖父が大変喜んでくれてとても嬉しかったですね」
微生物の研究と並行して取り組んでいた大槻並プロジェクトが縁となり、丹山酒造に入社することができた。

従来の日本酒のイメージから脱し 若い世代へも積極的に働きかけ

ラベル貼りなど商品の仕上げから出荷準備、接客や電話での応対、京都中心の営業活動、さらには全国各地の百貨店で催されるイベント・京都展での販促活動まで、大坪さんが担当する仕事は幅広い。

「日本酒は居酒屋で飲むもの、といった従来のイメージを払拭し、ワインやハイポールを楽しむような感覚で、もっと若い方に飲んでいただきたいですね。一度飲んでいただければ、必ず純米酒のおいしさが分かっていたらと思います」と語る大坪さんは、従来の日本酒ファンに加え、同世代への普及にも努めている。



約1.8tの「山田錦」を収穫し 今年は2種類の「大槻並」を醸造

地元農家および丹山酒造と、バイオ環境学部を中心とする本学とのコラボレーションで、「大学生が米から育てたお酒をコンセプトに、平成22年度から造っている純米酒「大槻並(おつくなみ)」が、今年も5月に販売が開始された。西別院地区大槻並の棚田と大学構内の田んぼで収穫された酒米「山田錦」は、初年度は640kgにすぎなかったが、昨年はおよそ3倍の約1.8t(30俵)が収穫できたことから、今回は2種類の日本酒が醸造された。前年と同じアルコール度数18%の純米原酒と、ワイン感覚で飲めるアルコール度数8%のフルーティなタイプの2つである。今回も学生が考案したラベルで装いも新たに登場し、一般の人たちにも好評で上々の売れ行きを見せている。



大坪さんが大学時代にデザインを手掛けたラベル(左)には、亀岡の花・つつじが描かれている

リレーエッセイ

卒業生

教室とともに机を並べ、クラブ活動とともに汗を流し、休日にはともに遊び、キャンパスライフを通じて青春を謳歌した忘れられない友人との思い出。今回も前号でご紹介頂いた3名の同窓生にエッセイを寄せていただき、今も記憶に残る学生時代の思い出や卒業後の歩みを綴っていただきました。

富田勝也

平成4年経済学部経済学科卒業



学生時代は自動車通学をしていたので、よく友人たちと一緒に目的もなくドライブしていました。また、カラオケボックスが珍しい時代だったので、合コンなどで利用していました。

卒業後、日産自動車の販売会社に就職して20年が経ちました。自動車業界の景気の波にもまれながらも何とか頑張り、入社時には考えられなかった電気自動車も販売しています。最近、高校3年になった長男が取り寄せた大学資料の中に、京都学園大学のパンフレットがありました。在学中に比べると多種多様な学部学科があり、校舎も新築したり改築したりしながらとても立派な大学になっていることを、卒業生として誇りに思っています。



長男が通学している高校のPTA役員に選ばれ、総会で挨拶をしているところです。

次は:

中田 正敏さん
(平成4年経済学部経済学科卒業を
紹介します!)

浅田悠里

平成9年経済学部経済学科卒業



大学生活で最も印象に残っているのは、波多野先生との思い出です。英語が苦手だった私に授業外のレッスンをしてくださり、お陰で大学院を修了することができました。その時の英語の録音テープは、今でも大切に保存しています。

卒業後は小さな旅館の支配人として就職し、法学部出身の周と結婚しました。数年後には1軒目の旅館を買って夫婦で経営を始め、その2年後には2軒目・3軒目を購入。そして、現在は4軒目の購入を計画中で多忙な毎日です。折にふれて大学時代のクラスメートを懐かしく思い出しています。近いうちにぜひ同窓会に参加したいと思っています。



京都町屋旅館 なごみの輪
URL <http://www.nagomi-kyoto.com/>

次は:

壺井 則行さん
(平成10年法学部卒業を
紹介します!)

外国人観光客に人気の京町家を改装した旅館を京都駅近くで3軒経営しています。

柳井奈都子

平成16年人間文化学部文化コミュニケーション学科卒業



大学4年間、準硬式野球部のマネージャーをしていました。野球の知識はゼロだったので、皆さんには色々迷惑をかけていたと思いますが、全員が目標に向かって練習していた日々は、本当に大切な思い出です。

大学卒業後は、自動車メーカーのショールームの受付事務として約5年間勤務し、現在は財団法人で働いています。また、2年前に結婚もしました。結婚式には、学生時代お世話になった部活の顧問とキャリアサポートの先生にもご列席いただきました。学生時代の友人とは年に数回集まって、近況報告をしています。友人や先生とは頻りに会うことはありませんが、これからもずっと大切な存在です。



2年前の新婚旅行でグランドキャニオンへ。大自然を目の前にして感動しました。

次は:

水 悠香さん
(平成17年人間文化学部文化コミュニケーション学科卒業を
紹介します!)

学生気分で過ごす最高に楽しいひととき！ 昨年も全国各地で盛大に支部総会を開催

滋賀県で初めて同窓会支部が結成されて今年で10年目、以後、西日本を中心に全国各地で次々と支部が誕生し、昨年は地域別では7番目となる関東支部が発足しました。支部活動が軌道に乗るにつれて企画はバラエティに富み、プログラム内容も年を追って充実してきています。未参加の皆様もぜひ世代を超えた交歓をお楽しみください。

平成23年
7/9
(土)

「黒潮本陣」を見学し夕湯でリラックス さまざまな話題で盛り上がった懇親会

午前中は「黒潮本陣」を見学し、葉焼きの鯉タタキに舌つづみ

晴天に恵まれた7月9日、最初に、土佐の一本釣り、で知られた高岡郡中土佐町の「黒潮本陣」を訪れました。一通り施設を見学した後、お目当ての黒潮を沸かした「夕湯の露天風呂」で、眼前の太平洋を一人占めするような爽快な気分を満喫。入浴後は、焼き上がったばかりの、葉焼きの鯉タタキを賞味し、黒潮の香り、に後髪を引かれながら、総会会場の高知プリンスホテルへ向かいました。

**四国支部のさらなる発展を確認！
すべての議案を満場一致で承認**

総会には14名の出席を得て開会。冒頭、挨拶に立った宮川雅敬支部長は、四国支部の現状と今後の課題について明るい見通しを語り、支部活動のさらなる発展への期待をふくらませました。井尻雅文同窓会副会長の挨拶のあと議事に入り、いずれの議案も満場一致で承認。同窓会事務局からの現状報告をもって、すべての案件を終了しました。

休憩後、内山隆夫学長の挨拶、西藤二郎キャリアサポートセンター長による乾杯のご発声で懇親会を開始。いくら時間があっても足りないほどの話題で盛り上がり、あっという間に閉会の時刻となりました。最後は大学歌斉唱と三本締めを行い、再会を約束して解散しました。



出席者氏名／宮川 雅敬、清水 浩子、岸本 達士、久光 功三、小田 善一、島本 知佳、森 英彰（順不同、敬称略）

四国支部 第3回総会

平成23年
9/10
(土)

卒業生の要望により設立された関東支部！ 交流を深め母校への力強いサポートを確認

国広富之・三遊亭京楽両氏が顧問に
戸田脩司氏が関東支部長に就任

平成22年7月10日に開催した「卒業生の集い」以降、関東支部設立に向けて着々と準備を進めてきました。その機が熟した昨年9月10日、文京区の東京カレッジ・デンパレスにおいて設立総会を開催しました。冒頭、堀越直機同窓会長に続いて挨拶に立った設立準備会の戸田脩司代表は、「関東の卒業生が母校をどうサポートできるかを考え、できる限り力になっていきたい」と力強く語りかけました。

続いて議事に移り、設立趣旨や会則の制定、事業計画、予算案を審議して満場一致で承認されました。その後、戸田脩司支部長以下の役員・幹事を選出。さらに、俳優の国広富之氏と落語家の三遊亭京楽氏を顧問とする人事を決め、母校の発展に向けて参加者全員が力を尽くすことを確認し、総会を終えました。

**それぞれの思い出や人生を語り合い
世代を超えて和気あいあいと交流**

懇親会では、内山隆夫学長の「地域・社会とともに育む「協育」を目指している。社会が求めている、人間力を養う大学づくりを目指したい」との挨拶で幕を開け、堀越同窓会長の乾杯の発声とともに、



和やかなムードが会場いっぱいになり、名刺交換のあとは、学生時代の思い出話やそれぞれの人生を語り合い、世代を超えた卒業生同士の笑顔がはじけました。懇親会終了後、すぐには別れがたく、二次会に席を移して歓談はいつ果てることもなく続いていきました。



出席者氏名／戸田 脩司、鈴木 樹廣、佐藤 慶一、鈴木 哲夫、洲本 善巳、小田 茂、金田 秀男、瀨尾 香苗、高橋 渉、田中 宏尚、猪野 聡、木村 昭喜、窪嶋 聡、若田部 賢、東島 静（順不同、敬称略）

平成23年
7/10
(日)

久々の講義で学生時代にタイムスリップ！ 広島を離れ岡山で初の総会・懇親会を開催

バイオ環境学部教授の
中村先生の講演で開幕

過去4回の総会は広島で行ってきましたが、今回は初の試みとして岡山ロイヤルホテルで開催しました。当日はゲストも含め19名が参加して、14時に開会。まず総会に先立ち、バイオ環境学部の中村正彦教授による「エビジュネティクスへの招待―氏が育ちか」と題した文化学術講演会を、学生時代に戻った気分ですらしました。

**より多くの会員に機会を提供するため
今後は各地持ち回りで開催を検討**

総会ですべての案件が満場一致で承認された後、内山隆夫学長の挨拶、西藤二郎キャリアサポートセンター長による乾杯のご発声で懇親会を開始。恒例の名刺交換や自己紹介へと進み、懇親会はほかに活気を帯びていきました。今回は期待どおり地元から数名の参加者がありました。今後、各地持ち回りで開催する案も出ています。

中国支部 第5回総会



出席者氏名／住吉 眞一、木島 慎一、平林 順也、大妻 政男、重定 孝夫、宮尾 典明、井上 礼子、片平 康成、秋山 美穂、植木 健雄（順不同、敬称略）

平成23年
11/12
(土)

名城・熊本城を見学した後 郷土料理に舌つづみを打ち 時間を忘れて和やかに歓談

地元観光ボランティアの案内で
復元された城郭をゆっくり見学

各県持ち回りで行っている九州支部第7回総会は、11月12日に熊本市で開催。総会に先立って、日本三名城の一つに数えられ、熊本の特徴ともなっている豪壮堅固な熊本城を、地元の観光ボランティアの方の案内で見学する会員研修会を実施しました。平成19年に築城400年を迎えたこの城は、加藤清正が築いた当時の姿を再現するため、城郭全体にわたって、本格的な復元修復工事が行われたばかりで、本丸御殿大広間をはじめ見どころいっぱいの見学会となりました。



かねて挨拶を行い、続いて中野恵一同窓会副会長が挨拶して総会が始まりました。平嶋支部長による議事進行で、平成22年度の事業および収支決算報告、23年度の事業計画および収支予算案など5議案が審議され、いずれも満場一致で承認されて総会は閉会となりました。

研修会終了後、総会・懇親会の会場を熊本城からほど近い「チサンホテル熊本」に移しました。まず、平嶋智晃支部長が開会の辞を

九州支部 第7回総会



出席者氏名／平嶋 智晃、豊福 祥人、山之内 眞、武田 和美（順不同、敬称略）

滋賀県支部 第9回総会



出席者氏名／馬場 善和、鳥居 彦宏、吉仲 和夫、武村 薫、吉川 孝二、秋野 義典、梶 守、増井 瑤、南 正晴（順不同、敬称略）

滋賀県支部第9回総会&懇親会は、京都駅近くのキャンパスプラザ京都6階にある京都学園大学サテライト教室において開催しました。このサテライト教室は、授業や講演会、セミナーなど多目的に利用されている施設で、当日は支部役員と一般会員および本部役員に、記念講演をお願いしたバイオ環境学部教授、坂本文夫先生を加え、総勢22名が参加しました。開会時刻は15時30分。総会に先立ち、全員で大学歌を斉唱、続いて馬場善和支部長による挨拶と配布資料の説明がありました。この資料の中には、馬場支部長が発行責任者となっていた、昭和57年3月25日発行の「学園大タイムス」があり、当時を懐かしむ声が相次ぎました。

総会で平成23年度決算、24年度会計予算案・活動予定が満場一致で承認されたあと、「ニホンミツバチの不思議な生態と魅力」と題した坂本教授による記念講演が行われました。ミツバチの社会や巣づくり、日本古来の野生種ニホンミツバチと、一般的に養蜂されているセイヨウミツバチの生態の違いなど、興味深い講義にみんな熱心に耳を傾けました。質疑応答に移ると質問が相次ぎ、予定時間を大幅に超過するほどの好評ぶりでした。講演会終了後、会場を京都駅ビル内の居酒屋「京都木村屋本店」に移して懇親会を開催。そのあと京都タワー展望台に上がって京都の美しい夜景を楽しみ、名残を惜しみながら散会しました。

平成24年
5/26
(土)

サテライト教室で総会&講演会を開催 最後は京都タワーで美しい夜景を堪能

総勢22名の懐かしい顔ぶれがそろい
30年前の「学園大タイムス」も披露

ミツバチの不思議な生態と魅力に
興味津々で予定時間を大幅に超過

北陸支部 第4回総会



出席者氏名／山野下 義紀、笹山 正康、清水 秀文、浦野 俊二、土村 望、岡本 真、湯浅 和弘、橋本 直樹（順不同、敬称略）

これまで金沢市内で行ってきた総会会場を、今回は加賀の名湯・山代温泉に移し、美人女将で有名な「加賀屋 宝生亭」において、一泊二日の日程で開催しました。堀越直機同窓会長以下同窓会本部からの参加者、金沢での父母の会、教育・就職相談会を終えて駆けつけくださった内山隆夫学長、西藤二郎キャリアサポートセンター長を加えて総勢14名が出席。参加者の多くは受付を済ませると早速ひと風呂浴び、浴衣姿で総会に臨むという、何ともリラックスした雰囲気が始まりました。

定刻の17時、山野下義紀支部長の開会の辞、堀越同窓会長の挨拶で総会がスタート。山野下支部長による議事進行のもと、平成22年度の事業報告など4議案が審議され、すべてが承認されました。総会終了後は、懇親会場へと席を移しました。まずはじめに内山学長にご挨拶いただいた後、西藤センター長による乾杯のご発声で歓談がスタート。懇親会では参加者同士が積極的に交流を図り、おおいに盛り上がりしました。今回は初の泊まりでの総会ということもあり、終始リラックスした雰囲気でした。また、肌に優しい弱アルカリ性の源泉100%のお湯は日ごろの疲れを癒す効果もあり、ゆったりとくつろいでいただけようでした。

平成23年
11/19
(土)

初の試みとして加賀の名湯・山代温泉で 日ごろの疲れを癒しながら盛大に開催

総会の前に温泉で疲れを癒し
リラックスした雰囲気で開催

和気あいあいの雰囲気で行い
参加者同士が積極的に交流



支部レポート

バイオ環境学部支部 第3回総会



バイオ環境学部支部第3回総会には、第1期・第2期生35名と本部役員4名、第3期卒業生のほぼ全員が参加。坂本文夫教授の司会により進行され、大石康正代表幹事、金川貴博教授の挨拶のあと同窓会本部を代表して井尻副会長から事務連絡が行われました。総会の後は、卒業生の歓送会を実施。在校生たちが用意した多彩な料理に舌つみを打ちながら同窓生同士が交流を深め、和やかな会となりました。今後も各地域支部と同様、同窓会本部と情報交換を行いながら、在学生への就職支援や研究活動支援を積極的に展開していく予定です。

平成24年
3/17
(土)

平成23年度卒業式終了後に 総会を開催同窓生と卒業生が 交流を図る機会に！

※ 同窓会理事の役職名は総会開催時のものです

平成24年度 同窓会支部総会のお知らせ
同窓会支部総会を下記の日程で開催いたします。総会の後は懇親会を実施。また会員研修も予定しています。懐かしい同窓生たちと過ごすひとときをお楽しみください。

日程	場所	内容	
中国支部 第6回総会	平成24年9月8日(土)	広島県廿日市市宮島	会員研修(宮島見学)、総会、懇親会
東海支部 第7回総会	平成24年10月13日(土)	三重県鳥羽市ほか	会員研修、総会、懇親会
関東支部 第2回総会	平成24年10月20日(土)	東京都内	※ 詳細未定(屋外の会場で開催予定)
北陸支部 第5回総会	平成24年10月27日(土)・28日(日)	亀岡市	龍尾祭に合わせ本学で開催 ※ 詳細未定
九州支部 第8回総会	平成24年11月10日(土)	福岡市(会場未定)	研修会(大学教員による文化学術講演会)、総会、懇親会

※ 日程、場所、内容などは変更の可能性があります。詳細は同窓会事務局にお問合せください。

お問合せ先 京都学園大学同窓会事務局
TEL 0771-29-2374 (直) FAX 0771-29-2389 E-mail dousoukai@gakuendai.com

東海支部 第6回総会

会員交流懇親会は内山隆夫学長のご挨拶、西藤二郎キャリアサポートセンター長の乾杯のご発声で始まり、歓談の輪が広がるなかで、間もなく40周年を迎える同窓会の今後の発展策について、異業種間交流による埋もれた卒業生の発掘、最先端の情報網を使った活動の活性化、他支部との交流など、建設的な提案が次々と飛び出し、母校と同窓会に対する熱い思いが会場全体に広がりました。

続いて支部総会に入り、平成22年度事業報告をはじめとする4つの議案を審議し、すべて満場一致で承認されました。引き続き支部総会に入り、平成22年度事業報告をはじめとする4つの議案を審議し、すべて満場一致で承認されました。



平成23年
11/20
(日)

今回は初めて静岡市で開催 同窓会のさらなる発展への さまざまな提案が続出

学術講演会で
久しぶりに頭脳を活性化

今回、静岡で開催したことにより初参加の会員を迎えることができましたが、次回はその輪がさらに大きく広がることが期待されています。最後は大学歌の斉唱、四国支部発祥の「前向き万歳三唱」で締め、参加者一同、同窓会発展への新たな決意を胸にそれぞれの帰路につきました。



出席者氏名／小林 滋弘、猿見田 隆宏、中野 昌明、袴田 淳、齊藤 友昭、仁科 達哉（順不同、敬称略）



大学トピックス



開学から45年、京都学園大学は今や5学部10学科5研究科を擁する「生活を科学する文理総合大学」へと発展し、日々とどまることなく進化を続けています。さまざまなジャンルの話題を通じて最近の進展ぶりをご紹介します。

Topic 1 まちなか緑化の一環として「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」がスタート

ニホンミツバチとの共生によるまちなか緑化推進の取り組みとして、京都市（中京区役所）と連携し「京都みつばちガーデン推進プロジェクト」を進めることになり、連携協定を締結。昨年10月26日、京都市中京区役所の屋上ガーデンにおいて、京都市長や本学学長をはじめ約100名が出席して開始セレモニーが行われました。



Topic 3 「これが手厚い大学（大学の支援体制）」のトップ20にランクイン!

昨年の週刊ダイヤモンド12月10日号「就職に強い大学ランキング」で、本学は「これが手厚い大学（大学の支援体制）」という項目で全国トップ20位に入りました。また、「特色ある就職支援体制」の項目でも「先輩活用」部門でランキング入り。総合ランキングでは、京都地区8位/23大学、近畿地区33位/99大学、全国231位/548大学という評価を受けています。

Topic 4 より付加価値の高いサービス提供を目指し大学組織の改編を実施

平成24年度から、より付加価値の高い就学支援サービスや学術情報サービスなどを提供できるようにするため、業務の高度化を目指して相互に関連する事務室を左記のように統合、名称変更しました。

旧名称	新名称
教務課	教育修学支援センター事務室
学生課	研究・連携支援センター事務室
リエゾンセンター事務室 総合研究所事務室	入学センター事務室
入試課	学術情報センター
図書館 情報センター	就業力育成センター事務室
就業力育成推進室	

ミツバチが活動すると多くの花が咲き実がなる。すると野鳥が集まり、実だけでなく害虫も食べる。害虫が減れば植物は健康に生育し、殺虫剤などの使用も抑えられる、といった好循環が期待できるプロジェクトです。このように、人と多様な生き物との共生は、環境の未来を創造するうえで大きな効果をもたらします。

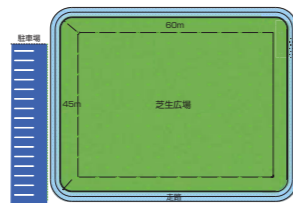
今春には新柳居市民講座として、本学京町家キャンパスでバイオ環境学部坂本教授らが講師となり、「ニホンミツバチに親しむ」講演会を実施。希望者が殺到して聴講できない市民が多数あったため、後日追加講演するという盛況ぶり、緑化推進への関心の高さがうかがえました。



固い握手を交わす内山学長、坂本教授、門川京都市長

Topic 5 旧体育館跡地に「GREEN PLAZA 芝生広場」が誕生!

今秋、旧体育館跡地が整備され、「GREEN PLAZA 芝生広場」として生まれ変わります。60m×45mの天然芝広場の周りには、ジョギングやウォーミングアップのできる走路も設置。龍尾祭のイベント広場や学生の憩いの場として活用される予定です。



Topic 6 体育系のクラブが大健闘! 全国大会・国際大会への出場権を相次いで獲得

5月6日、びわこ成蹊スポーツ大学戦に勝利し、平成24年度京滋大学野球リーグ戦で2季ぶり8回目の優勝を飾り、2年連続で全日本大



Topic 2 経営学部創設20周年記念講演会・シンポジウムを開催



第1部は北城悟太郎氏による講演会を実施



今年2月18日、キャンパスプラザ京都で、「起業教育の現状と課題」を全体テーマとし、文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」経営学部創設20周年記念講演会・シンポジウムが開催されました。日本に漂う閉塞感を打破し、未来を切り開く起業教育のあり方を考え、起業や起業家の育成に向けて何が必要か、大学はそれにどう関わっていくべきか、内外の専門家が問題発見と解決に迫りました。

第1部講演会では、日本IBM最高顧問/元経済同友会代表幹事の北城悟太郎氏から「起業による経済活性化」をテーマに講演していただきました。

学野球選手権大会への出場権を獲得しました。6月13日、東京ドームで関西六大学代表の龍谷大学と対戦しましたが惜しくも敗れ、念願の初戦突破はなりませんでした。

● パワーリフティング部

経営学部3年の奥戸知香選手が、スウェーデンで開催のクラシックパワーリフティングワールドカップ、経営学部1年の寺原万留々選手が、ポーランドで開催の世界ジュニアパワーリフティング選手権大会への出場を決めました。なお、奥戸選手は果敢に攻めたものの7位に終り、残念ながら入賞には至りませんでした。



ワールドカップへの意気込みを語る奥戸知香選手

● アメリカンフットボール部

昨年度は、関西学生アメリカンフットボール3部リーグCブロックで全勝優勝。同リーグ内のプレイオフでも、Aブロックの流通科学大学を破る快進撃ぶりを見せました。12月17日、2部リーグBブロック第5位の京都産業大学と、2部昇格をかけた入れ替え戦に挑みましたが、惜しくも敗退、今年こそはと意欲を燃やしています。

● 女子バスケットボール部

昨年の関西女子学生バスケットボール秋季トーナメントで準決勝まで勝ち進み、2部昇格を決めました。今春の全

事例として「京學堂」の活動状況も紹介

第2部シンポジウムでは、早稲田大学ビジネススクール・大学院商学研究科教授の松田修一氏、文部科学省高等教育局専門教育課長の内藤敏也氏、韓国培材大学産学協力教授・技術移転センター長のYoo Tae Bang氏に「登壇いただき、本学の白石友子経営学部長と堀池敏男教授を交えて、「日本の起業教育・韓国の起業教育」をテーマに議論していただきました。

シンポジウムの冒頭、「京都学園大学『京學堂』の取り組みについて」と題して、堀池教授がキャンパス内で学生が主体的に運営するチャレンジショップ京學堂について説明。運営に関わった3名の学生も加わって活動状況などを紹介しました。続いて各パネラーが専門的な立場から取り組みを説明した後、活発な議論が交わされ、大きな収穫を得て閉幕しました。



活発な議論が交わされた第2部のシンポジウム

関西女子学生バスケットボール選手権大会でも、強豪チームを次々と破ってベスト8入り。準々決勝で敗れたものの、1部の強豪チームとの対戦は貴重な経験となりました。

● 準硬式野球部

今年の京滋六大学春季リーグ戦は、11勝1敗という圧倒的な戦績で2連覇を果たし、全国大会出場権をかけたトーナメント戦に挑みました。しかし、1回戦で立命館大学に、二次トーナメントでも同志社大学に惜敗し、来年のリベンジに向けてさらなる猛練習に励んでいます。

● 剣道部

経営学部3年の山村太生選手が、第60回全日本学生剣道選手権大会への出場権を獲得。残念ながら初戦敗退となりましたが、最後まで全力で戦い抜きました。

退職者のお知らせ

 経営学部教授 李建	 バイオ環境学部特任教授 北尾 邦伸
 法学部准教授 小林 明夫	 大学事務職員事務局長次長 清水 漸

学友会の統括・サポートのもと 年々実績を高めるクラブ活動

現在、体育系29団体・文化系14団体のクラブ・同好会が活動しており、近年はめざましい戦績・実績を挙げるクラブが年を追って増えています。本誌では、毎月いくつかのクラブを取り上げ活動状況を紹介していますが、今回はそれらを統括・支援している学友会にもスポットを当ててみました。

学友会

京都学園大学学友会 組織図

楽しく充実したキャンパスライフにかかせない5つの自治組織

学部代表委員会

主に学生がよりよいキャンパスライフを過ごせる環境づくり、仕組みづくりに取り組んでいます。例年は全学生を対象にアンケートを実施し、昨年は、要望が多かったバス発着時刻の変更や水飲み場の増設などを要求しました。こうした活動状況は毎年発行する機関誌に掲載しています。

龍尾祭実行委員会

学園祭「龍尾祭」の企画・運営を担当、団体や学生をサポートし、学園祭を楽しく盛り上げるための活動を行っています。本年度の第44回龍尾祭は「Piece」をテーマとし、本学生はもちろん卒業生、大学関係者、地域の方々とともに、思い出に残るイベントにしたいと考えています。

体育連合協議会

各施設の使用時間の調整、施設改善や使用マナーの向上、備品調達などさまざまな問題解決を図り、体育系団体がよりよい活動ができるようサポートしています。また、学友会と体育系団体との仲介役として連絡事項の伝達、書類の配布・回収といったスタッフ業務も行っています。

文化連合協議会

中央委員会や教育修学支援センターと文化系団体を結ぶパイプ役を果たす一方、施設利用の調整やサークル結成の承認などを主な活動としています。本年度は、各団体とスムーズなコミュニケーションを図り、文化系サークルを増やして、各種イベントや大会を積極的に開催していく方針です。

クラブハウス運営委員会

学内にある2つのクラブハウスとその関連設備を、全学学生に開放するための維持管理運営を担当する機関として、平成22年度に設置されました。「クラブハウス使用内規」に基づき、施設・設備の使用調整や使用マナーの向上、ハウス内のトラブル解決などにあたっています。



第2クラブハウス



豊かな緑に抱かれたキャンパス



第1クラブハウス

ボランティア研究会

今年も龍尾祭で「りんご飴」を出店します
先輩の皆さんのご来場をお待ちしています



活動では障がいのある小さな子どもやお年寄りの方と接する機会が多いので、総勢19名の部員はみんな真剣に取り組んでいます。昨秋は日々の活動に加え、亀岡市の七谷川野外センターで行われたがん患者さんの支援チャリティイベントに参加し、命について多くのことを学びました。これからも創部30年の伝統をしっかりと引き継ぎながら、さらに活動を活性化させていきたいと思っています。



吹奏楽部

練習に励み切磋琢磨した成果が実って
昨年の定期演奏会は大成功を収めました



週3日という少ない練習のなかで、どうすればよい演奏ができるかを常に考えながら、17名の部員が日々切磋琢磨しています。その成果が実り、昨年の定期演奏会は大成功となりました。また、他校の奏者にも協力してもらったことで、深く交流することもできました。これからも明るく楽しく練習に励み、問題があればお互いに話し合い、助け合いながら、今年の定期演奏会も成功させるために頑張っていきます。



アメリカンフットボール部

昨年度関西学生リーグ優勝の余勢をかって
二部リーグ昇格を目指し猛練習しています



週に5日、31名の部員が雰囲気大切にしながら練習を重ねています。昨年度の関西学生リーグではチームが一丸となり、見事優勝を果たすことができました。これからの目標は二部リーグへ昇格することです。メリハリを大切にしながら、「楽しく厳しく」をモットーに、日々努力を続けていくところです。OBのみなさん、本年度も「DAREDEVILS」を応援いただきますよう、どうぞよろしくお願いたします！



写真部

京都市内のギャラリーで写真展を開催
個人の感性を大切に技術向上を図っています



春休みに、初めて京都・寺町にあるギャラリーで写真展を開催しました。これに先立ち、撮影会を行って技術の向上を図るとともに、照明や配置など会場の雰囲気づくりにも心を配りました。広報不足もあって、残念ながら来場者は多いとは言えない状態でしたが、幾人もの方にアドバイスをいただき、今後の参考にになりました。これからも個人の感性を大切にしながら、明るい雰囲気のおかげで技術向上に励みたいと思います。



2013年度入試概要

母校の入試にお力添えをお願いします。
2013年の入試日程が決定いたしました。
お子様はもちろん、ご親戚、お知り合いの方々にも、
受験をすすめたい、ご連絡させていただきます。
大学案内および入学願書は無料でお届けいたしますので、
ご希望の方は本学入学センターまでご連絡ください。

TOPIC 1 同窓会優遇制度

入学者の「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」のいずれかが、京都大学あるいは京都文化短期大学を卒業した方、または京都学園大学に在学中の方は、入学後申請により、入学手続時に納付された二次手続金(入学金)相当額を返還いたします。
●例えば文系学部の場合、入学金相当額が返還されるため(一般の方は26万円)、同窓会優遇制度利用者の2013年度納付金の合計金額は、78万4000円(授業料72万4000円+施設設備費6万円)となります。

TOPIC 2 初年度納付金額を軽減

経済経営・法・人間文化学部の初年度納付金を軽減しました。
●初年度納付金... 入学金+授業料+施設設備費 104万4000円
●昨年度納付金は122万4000円でした。よって初年度は18万円の減額となります。

TOPIC 3 成績優秀者給付奨学金採用枠を拡大

成績優秀者給付奨学金採用枠を拡大
●指定校推薦入試
●21世紀スポーツリーダー入試
●文化・芸術リーダー入試
●一般人試A日程・B日程・C日程
●センター利用入試A日程・C日程

次の入試区分において、成績優秀者に適用します。
[授業料の25%を最大4年間給付]
[入学金・授業料の50%または100%を最大4年間給付]
[授業料の50%を最大4年間給付]

TOPIC 4 センター利用入試

センター試験を利用して受験する場合、検定料は1学科(専攻)につき5000円です。
センター利用入試が3月も出願可能です。

TOPIC 5 一般入試にCS日程(課題文型)を新設

一般入試C日程と同日の午後から受験いただけます(本学会場のみ)。

TOPIC 6 試験会場(4会場)を増設

全国14会場を設定、より受験しやすくなります。
本学のほか、東京、静岡、浜松、名古屋、金沢、大津、草津、大阪、岡山、広島、高松、福岡、那覇で受験できます。

TOPIC 7 学科(専攻)間同日併願制度

学科(専攻)間での併願が可能です。
一般人試B日程・C日程では、「社会科学系学部(経済学部/経営学部/法学部)で最大3学部まで」「人間文化学部(心理学科/メディア社会科学科/歴史民俗学専攻/日本語日本文化専攻/国際ヒューマン・コミュニケーション学科)で最大3学科(専攻)まで併願できます。併願しても入学検定料の追加は必要ありません。

TOPIC 8 志望順位受験制度

志望順位受験制度
パイオ環境学部では公募推薦入試および一般入試において第2志望受験ができます。第1志望学科が不合格で合計点が第2志望学科の合格最低点を上回る場合、第2志望合格となります。入学検定料の追加は必要ありません。
※詳しくは入学試験要項で必ずご確認ください。

2013年度入試日程

制度	選考区分	学部	内容	出願期間	試験日 審査日	合格発表 (審査結果発表)	一次手続	二次手続			
AO入試	OC参加型 A日程 ^{※1}	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	エントリーシート、 模擬授業、面接	エントリー: 8/20(月)~8/30(木) 正式出願: 9/19(水)~10/3(水)	9/9(日)	10/9(火) [9/18(火)]	12/21(金)	2/22(金)			
	OC参加型 B日程 ^{※1}			エントリー: 9/24(月)~10/3(水) 正式出願: 10/24(水)~11/1(木)	10/14(日)	11/9(金) [10/23(火)]	12/21(金)	2/22(金)			
	OC参加型 C日程 ^{※1}			エントリー: 11/1(木)~11/14(水) 正式出願: 12/5(水)~12/12(水)	11/25(日)	12/20(木) [12/4(火)]	1/11(金)	2/22(金)			
	小論文型 A日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部/ パイオ環境学部		エントリー: 8/20(月)~8/30(木) 正式出願: 9/19(水)~10/3(水)	9/9(日)	10/9(火) [9/18(火)]	12/21(金)	2/22(金)			
	小論文型 B日程			エントリー: 9/24(月)~10/3(水) 正式出願: 10/24(水)~11/1(木)	10/14(日)	11/9(金) [10/23(火)]	12/21(金)	2/22(金)			
	小論文型 C日程			エントリー: 11/1(木)~11/14(水) 正式出願: 12/5(水)~12/12(水)	11/25(日)	12/20(木) [12/4(火)]	1/11(金)	2/22(金)			
21世紀スポーツ リーダー入試	A日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部/ パイオ環境学部 ^{※2}	実技、面接	8/20(月)~8/30(木)	9/9(日)	9/18(火)	12/21(金)	2/22(金)			
	B日程			9/24(月)~10/3(水)	10/14(日)	10/23(火)	12/21(金)	2/22(金)			
	C日程			1/4(金)~1/21(月)	1/30(水)	2/6(水)	2/22(金)	3/8(金)			
文化・芸術 リーダー入試	A日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部/ パイオ環境学部	高等学校在学中の活動実績、 面接	8/20(月)~8/30(木)	9/9(日)	9/18(火)	12/21(金)	2/22(金)			
	B日程			9/24(月)~10/3(水)	10/14(日)	10/23(火)	12/21(金)	2/22(金)			
	C日程			1/4(金)~1/21(月)	1/30(水)	2/6(水)	2/22(金)	3/8(金)			
公募推薦入試	A日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	英、国+全体の評定平均値×20	10/18(木)~11/1(木)	11/11(日)	11/20(火)	11/30(金)	12/21(金)			
		パイオ環境学部	英、国、数より 2教科2科目を選択(英語は必須) +全体の評定平均値×40								
	B日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	英、国+全体の評定平均値×20	11/21(水)~12/5(水)	12/15(土)	12/25(火)	1/11(金)	2/1(金)			
		パイオ環境学部	英、国、数、理より 3教科3科目選択(英語は必須) +全体の評定平均値×20								
一般入試	A日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	英、国、数、地歴より 高得点2教科2科目を採択	1/4(金)~1/16(水)	1/23(水) 1/24(木)	2/6(水)	2/22(金)	3/8(金)			
		パイオ環境学部	英、理、数より 高得点2教科2科目を採択		1/29(火) ^{※3}						
	B日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	英、国、数、地歴より 高得点2教科2科目を採択	2/1(金)~2/13(水)	2/19(火)	2/28(木)	3/8(金)	3/22(金)			
		パイオ環境学部	英、国、理、数より 高得点3教科3科目を採択								
	C日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	英、国	2/20(水)~3/6(水)	3/12(火)	3/18(月)	3/22(金)	3/22(金)			
		パイオ環境学部	英、理、数より 高得点2教科2科目を採択								
	CS日程 (課題文型)	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	課題文、面接	2/20(水)~3/6(水)	3/12(火)	3/18(月)	3/22(金)	3/22(金)			
	センター利用入試	A日程	経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	国、地歴・公、数、理、外国語より 高得点3教科3科目を採択	1/4(金)~1/18(金)	本学の個別 試験等なし	2/13(水)	2/22(金)	3/8(金)		
パイオ環境学部			外国語、理、国、地歴・公、数より 高得点3教科3科目を採択 ^{※4}								
B日程		経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	国、地歴・公、数、理、外国語より 高得点2教科2科目を採択	1/21(月)~1/30(水)							
		パイオ環境学部	外国語、理、国、地歴・公、数より 高得点3教科3科目を採択 ^{※4}								
C日程		経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	国、地歴・公、数、理、外国語より 高得点3教科3科目を採択	2/1(金)~2/13(水)	2/28(木)					3/8(金)	3/22(金)
		パイオ環境学部	外国語、理、国、地歴・公、数より 高得点3教科3科目を採択 ^{※4}								
D日程		経済学部/経営学部/ 法学部/人間文化学部	国、地歴・公、数、理、外国語より 高得点2教科2科目を採択	2/20(水)~3/6(水)	3/18(月)					3/22(金)	3/22(金)
		パイオ環境学部	外国語、理、国、地歴・公、数より 高得点3教科3科目を採択 ^{※4}								

※1 OCはオープンキャンパスの略。 ※2 パイオ環境学部は、パワーリフティングに限る。 ※3 パイオ環境学部を除く。 ※4 外国語・理科は必須。

入学に関するお問い合わせ先 TEL 0771-29-2222(入学センター) E-mail nyushi@kyotogakuen.ac.jp

オープンキャンパス 2012

OPEN CAMPUS

8/26
9/16
10/7
11/4

●全日程ともに受付9:30~ / 開催時間10:30~15:00

入学検定料の減額制度

複数日受験者等のほか、オープンキャンパス参加特典による入学検定料を減額します。
一般入試A日程の2日以上受験や一般入試C日程とCS日程の連続受験では入学検定料を減額します。
一般入試C日程とCS日程の連続受験は二日受験に該当します。

受験日数	検定料	1日あたり
1日	35,000円	—
2日	50,000円	25,000円
3日	60,000円	20,000円

オープンキャンパス 2012 参加特典 入学検定料減額制度

2012年度開催のオープンキャンパスに参加された方への特典として、入学検定料を減額制度があります。
対象となる入試区分は右記のとおりです。

入試区分	入試日程等	正規検定料	減額	減額後検定料	
AO入試					
21世紀スポーツリーダー入試					
文化・芸術リーダー入試	全日程	35,000円	-15,000円	20,000円	
指定校推薦入試					
公募推薦入試					
一般入試	A・B・C・CS日程 [※]	一日受験			
	A日程 [※]	二日受験	50,000円	-20,000円	30,000円
		三日受験	60,000円		40,000円

※一般入試C日程とCS日程の連続受験は二日受験に該当します。

対象者(2012年度開催のオープンキャンパス参加者)
●オープンキャンパス実施日
[3/25(日)、5/27(日)、6/17(日)、7/15(日)、8/4(土)、8/5(日)、8/26(日)、9/16(日)、10/7(日)、11/4(日)、沖縄会場7/29(日)]
●オープンキャンパスに参加された際に記入いただく、「参加票」によって参加を確認いたします。

同窓生の皆様へ就職支援のお願い

経済の長期不況のあおりを受け、新卒者の就職率は依然として低い水準のままとなっています。本学でも就職支援体制を整え、学生たちを全力でサポートしていますが、卒業生の皆様のお力添えによって、将来の可能性はさらに広がります。

つきましては、皆様が在籍しておられる企業において新規採用計画がありましたら、ぜひともご一報ください。後輩たちのために、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

京都学園大学キャリアサポートセンター
TEL 0771-29-2260 FAX 0771-29-2289
E-mail career@kyotogakuen.ac.jp

最新のご住所・電話番号をお知らせください

同窓会事務局では市町村合併などによる住所表記変更を随時行っていますが、毎回数百部の「CHEER」が所在不明で返送されています。郵便局によって異なりますが、旧住所表記では合併後2~3年で届けてもらえなくなるケースもあるようです。お手数をおかけしますが、結婚や転居などによる住所・電話番号変更も含め、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。

同窓会ホームページのご紹介

同窓会に関する最新情報から、母校・京都学園大学、京都・亀岡などの地域情報まで、幅広い情報を発信していきます。また、龍尾祭情報（ホームカミングデー、音楽ゲスト、イベント内容など）についても詳しくお知らせします。記事に対するコメント欄は同窓生の交流の場にもなるので、ぜひ気軽に書き込んでください。みんなで盛り上げながら、情報満載で楽しいホームページを作り上げていきましょう!

● 京都学園大学同窓会ホームページアドレス <http://www.gakuendai.com/>

同窓生の結婚報告を募集!

卒業生同士のご結婚、またはご夫婦のどちらかが同窓生というカップルを誌面で紹介したいと思います。掲載希望の方は、おふたりの氏名(旧姓)・卒業年・学部学科・結婚記念日または入籍日をご記入のうえ、ハガキ・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。

● 掲載写真について

一組につき1枚のみとさせていただきます。プリントの場合は返却までに多少時間がかかることをあらかじめご了承ください。メールにて画像データを送信していただく際は、ファイル形式をJPEGでお願いいたします。

※写真・結婚式.jpeg ファイル名も左記の通りにご変更ください
 ※メールの際は、件名を必ず記入してください。無件名のメールは削除されてしまいます。

京都学園大学同窓会事務局
〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1
FAX 0771-29-2389
E-mail dousoukai@gakuendai.com



未永く、お幸せに!

お詫び

平成24年6月20日夕方に同窓会サイトにおいてサーバ障害が生じました。これにより、ホームページにアクセスできない状態となり、大変ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。サーバ運営会社からデータ消失の連絡を受け、確認を行った結果、結婚報告写真等のデータが消失いたしました。せっかくお送りいただきましたのに、掲載することができず、申し訳ございませんでした。

平成23年度京都学園大学同窓会奨学金

人物優秀で、京都学園大学の名声を高め、他の学生の模範となる在学生を対象とし、人材育成に資することを目的として設置された『京都学園大学同窓会奨学金』。

平成23年度は書類審査・面接を経て10名が採用され、堀越会長より奨学金(1名につき年額12万円)と記念品が授与されました。



第39回同窓会定時総会概要報告

第39回同窓会定時総会が下記の内容で実施されましたので、ご報告申し上げます。

【日時】平成23年10月29日(日)

【場所】京都学園大学 光風館 K21 教室

【議事】第1号議案 平成22年度事業報告について

第2号議案 平成22年度決算・監査報告について

第3号議案 平成23年度事業計画(案)について

第4号議案 平成23年度予算(案)について

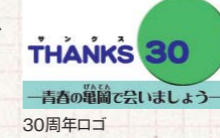
第5号議案 役員を選任について

同窓会設立40周年記念式典を開催!

平成25年秋、龍尾祭期間中に同窓会設立40周年記念式典を開催します。同窓会事務局では学内での式典や親睦会をはじめ、さまざまなイベントを企画。最新情報は随時同窓会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

同窓会40周年キャッチコピー&ロゴ大募集!

同窓会40周年を盛り上げていくため、キャッチコピー&ロゴを募集します! ふるってご参加ください。



- 応募先 / 京都学園大学同窓会事務局
〒622-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1
FAX 0771-29-2389
E-mail dousoukai@gakuendai.com
- 応募方法 / 郵送、FAX、メールにてご応募ください。
ロゴは手描きイラスト、JPEG形式のデータなどをお願いいたします。
- 締め切り / 平成24年9月30日

Book 同窓生の著書

平成9年法学部を卒業し、現在、立命館大学衣笠総合研究機構 PD フェロー、神戸市外国語大学非常勤講師として活躍されている文化人類学者・永田 貴聖(ながたあつまさ)さんが、初めての単著を出版されました。

『トランスナショナル・フィリピン人の民族誌』
 永田 貴聖 (ナカニシヤ出版)



国境を越えるフィリピン人たちの日常と「戦術」をみる。国境を越えて広がるネットワークのなかで多様な背景をもつフィリピン人たちは、様々な問題にどのように向き合い日常を生活しているのか一人を中心とする民族誌の実践。

新会長就任挨拶

この度、堀越直機前会長の後任として、同窓会長という大役を務めさせていただくことになりました。亀岡生まれ亀岡育ち、第4期生の中村正孝です。日頃は母校に対しご支援ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。厳しい時代背景の中ではありますが、一生懸命その任を果たすべく頑張りますので、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

我が京都学園大学は昭和44年に経済学部(経済学科・経営学科)を開設して以来、今日まで多くの先輩方のご尽力によって、43年という長きに渡る歴史と伝統を重ねて今日の発展を見るに至りました。

この度、私が受けた同窓会長という役職は、初代浅野眞実会長が長年に渡って基礎を築いてこられました。今日までのご苦勞に感謝申し上げる次第です。その後、堀越副会長が24年3月までの残任期間を継承され、私で3代目となりました。今更ながら、責任の重さに身の引き締まる思いです。まだ就任早々のため具体的な運営方針は白紙状態ですが、経験豊富な理事の方々にご協力いただき、徐々に具体化して参りたいと考えています。

ところで、私はこれまで同窓会とは「学校の発展に寄与し、「同窓会の皆様の親睦」を図り、「現役学生の皆様方の応援をする」組織だと思っていました。しかし、時代は過去に経験したことのない「少子化」時代、言い換えれば「人口減少」時代を迎えたため、大学経営が益々厳しくなり、同窓会の役割も今まで以上に大きくなって参りました。そこで、同窓会も大学の方針にならぬ、時代に適応した新たな改革を進める取り組みをして参ります。学生の半数は京都出身者であるため、広く地域に貢献することも大切です。食の安全安心や農業、環境といった身近な課題を考えるため、大学のもつ総合力を生かした活動を行い、さらには京都府教育委員会、口丹波7高校等などさまざまな分野で連携協定を結び、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

43年の歴史をもつ我が母校京都学園大学も、2万5千人を超える卒業生が全国の各方面で活躍されています。そして現在7つの地域で同窓会支部が立ち上がり、年1回の支部総会や懇親会を開催するなど、積極的な活動を行っています。同窓会総会は年1回、学園祭期間中に開催し、各地からの参加者も年々増加しております。多くの卒業生が「京都学園大学の卒業生」として誇れる大学であり、同窓会であるように努力して参ります。

平成25年には同窓会設立40周年を迎えます。この節目を機に京都学園大学の評価を更に伸ばし、「入学したい大学」そして「魅力のある大学」「チャレンジ精神の旺盛な大学」更には「マナーの良い大学」となるよう、同窓会としてさまざまな支援をして参ります。厳しい時代を迎え前途多難ではありますが、是非とも皆様方のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

平成24年6月

● 新任役員

- | | | | |
|-----|----------------|------|-----------------|
| 顧問 | 堀越直機(1969E110) | 常任理事 | 坂根耕世(1995E196) |
| 会長 | 中村正孝(1972E192) | 理事 | 久世善春(1969E040) |
| 副会長 | 高屋伸啓(1973E170) | | 齊藤一義(1971E067) |
| | 馬場善和(1978E737) | | 稲垣美都雄(1982E532) |
| 監事 | 上原正晴(1972E516) | | 出口昭則(1984E675) |
| | 吉川孝二(1995E475) | | 北村和也(2008B035) |

平成23年度京都学園大学同窓会 予算・決算書

収入の部		
科目	予算額	決算額
前年度繰越金	1,799,791	1,799,791
会費	16,250,000	15,075,000
雑収入	10,000	1,109
一般積立金より繰入	2,000,000	2,000,000
収入の部合計	20,059,791	18,875,900
支出の部		
科目	予算額	決算額
事務費	800,000	794,950
人件費	200,000	120,000
事務補助費	600,000	674,950
会議費	2,000,000	1,592,895
会議費	1,200,000	746,225
交通費	800,000	846,670
事業費	14,700,000	15,073,604
会報発行費	4,500,000	4,522,584
名簿管理費	100,000	8,970
ホームページ費	800,000	1,200,375
総会費	300,000	340,450
助成費	4,400,000	5,060,200
支部運営費	3,200,000	2,675,419
奨学費	1,200,000	1,200,000
慶弔費	200,000	65,606
積立金	0	0
一般積立金	0	0
事業積立金	0	0
予備費	2,559,791	0
翌年度繰越金	0	1,414,451
支出の部合計	20,059,791	18,875,900

平成23年度 事業報告

1. 定時総会、理事会等の開催
2. 会員名簿管理
会員総数 25,990名 ※平成23年度末現在
3. 会報誌「CHEER」NO.24 の発行
4. 同窓会ホームページの運営・管理
5. 支部活動支援
6. ホームカミングデーの開催(平成23年10月28日~30日)
 - 同窓会専用テントでの情報交換 参加人数 / 283名
 - ミニパーティの開催 参加人数 / 約50名
7. 同窓会奨学金の給付
8. 在学生支援事業
学友会懇談会の開催、優秀クラブ表彰、卒業記念品の贈呈、龍尾祭への助成、他

会議

- ◆ 第39回定時総会 / 平成23年10月29日
- ◆ 理事会 / 平成23年5月21日・10月29日
- ◆ 常任理事会 / 平成23年4月9日・6月25日・10月8日・平成24年3月3日
- ◆ 支部長会議 / 平成23年5月21日

平成24年度ホームカミングデー
第40回同窓会定時総会開催のお知らせ

今年も龍尾祭開催期間中にホームカミングデーを開催します。同窓生の皆様には500円相当の金券を配布させていただきますので、本誌送付時の宛名台紙を必ずお持ちください。

また、平成24年10月27日(土)には第40回同窓会定時総会を開催。総会終了後は、白雲ホール2階食堂(予定)にてささやかなミニパーティも開催します(アルコールなし)。参加費不要ですので、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

平成24年度 ホームカミングデー

日時

平成24年 10/26(金) ~ 28(日) 9:30~

場所

京都学園大学 光風館前テント

第40回 同窓会定時総会

日時

平成24年 10/27(土) 14:30~

場所

京都学園大学 光風館K22号教室



イメージキャラクター
タツオ

2012年第44回

龍尾祭

平成24年 10月26日(金)・27日(土)・28日(日)

今年のテーマは「Piece(ピース)」。スタッフ、お客様、イベント、模擬店というピースを組み合わせて、『龍尾祭』という一つのパズルを作り上げたいと考えています。恒例の音楽祭、爆笑祭、トークショーのほか、フリーマーケットやフィナーレのレーザーショーも開催予定。楽しく、思い出に残る学園祭にしたいとスタッフ一同張り切っていますので、ぜひこの機会にご家族やお友達とお誘い合わせのうえ遊びにいらしてください。

また、実行委員会では来年度のパンフレットに広告を掲載して下さるスポンサー様も募集しております。龍尾祭を盛り上げるために、ぜひともご協力ください。



第44回龍尾祭
実行委員会
実行委員長
酒井 あずさ

フリーマーケット出店募集!

第44回龍尾祭開催期間中の2012年10月27日(土)・28日(日)にフリーマーケットを実施! 母校の学園祭で出店してみませんか?詳細は龍尾祭実行委員会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

龍尾祭ホームページを随時更新中!

音楽祭のゲストをはじめ、詳しい情報が決まり次第随時更新します。

<http://www.ryubisai.jp/>

[twitter](#) ryubisai

お問合せ先 TEL・FAX 0771-29-2274

REPORT

三遊亭京楽さんによる防災落語公演を開催

第43回龍尾祭で、本学卒業生、三遊亭京楽さんによる「防災と落語の会」を開催しました。京楽さんは五代目三遊亭円楽師匠のお弟子さんで、阪神淡路大震災をきっかけに防災落語に取り組むようになりました。現在は東日本大震災の被災地をめぐるながら、ボランティア活動を続けておられます。

高座では、古典落語の名作「平林」と「火焰太鼓」を演じられたあと、阪神淡路大震災を題材とした新作落語「天使の産声」を熱演。詰めかけた約120名の聴衆を魅了しまし

た。高座の後は、石巻で被災され、現在京都市で避難生活を送られている加藤さんとのスライドを交えた対談もありました。

京楽さんは、同窓会の関東支部の顧問を勤められており、当日は関東からも多くの皆さんが駆けつけてくださいました。

当日、皆さまからいただいた義援金2万6,880円は、京都新聞社会福祉事業団を通じて被災地へ送らせていただきました。



さようなら
尚志館

平成24年、卒業生の皆様に親しまれていた「尚志館(旧311号教室)」が、施設の耐震強度不足を理由に解体されました。見慣れた風景がなくなるのは何とも寂しい限りですが、多くの時間を過ごした学び舎をぜひ記憶の中に留めておいてください。

思い出の場所・懐かしい人を調査します!

亀岡に住んでいた頃によく通ったお店、お世話になった人、学生時代に過ごした下宿の“今”が気になりませんか?同窓会で調査しますので、お電話・FAX・メールにて下記の連絡先までお気軽にご依頼ください。

編集後記

任期満了に伴う役員の変更が行われ、中村正孝新会長以下新体制となった同窓会。これまでの良き伝統を引き継ぐとともに、新たな気持ちで同窓会報 CHEER を作成しました。

同窓生の頑張っておられるお姿や母校の今を、より多くお伝えできるように取材等に奔走しております。ご意見、ご感想などお気軽に事務局までお寄せください。お待ちしております。

また、現在、同窓会では支部活動の充実支援や設立40周年記念事業の準備を進めているところです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

今後とも、本会の活動にご理解ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

(広報委員会)

同窓会への
お便り・情報を
募集

皆様の近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構です。お気軽に同窓会事務局までお寄せください。

京都学園大学同窓会事務局 TEL 0771-29-2374(直) FAX 0771-29-2389
E-mail dousoukai@gakuendai.com

京都学園大学同窓会

〒621-8555 京都府亀岡市首我部町南条大谷1-1 TEL 0771-22-2001(代)

<http://www.gakuendai.com/>